



六甲カトリック教会 教会報

2024

2

No. 626



定められた時が迫っています (1 コリ 7 ; 29)

主任司祭 英 隆一朗, s. j.

寒い冬になりましたが、皆さま、いかがお過ごしでしょうか。今年は元日から大きな自然災害が起こり、厳しいスタートとなりました。1月17日の阪神淡路大震災の記念日には、私自身、東遊園地に行き、多くの人とともに祈りをささげました。皆さんの中には、29年前の惨事を体験された方々がまだ多くおられると思います。天変地異はいつの時代もあったことですが、最近はさらにその頻度が増しているように見えます。地殻変動期を迎えているのでしょうか。私たちは震災を経験しているからこそ、これからに備え、苦しんでいる人と心をつなげていきたいと思います。

予期せぬ災害に備えて2つのことが大切です。1つは、外面的な準備。マスコミでよく宣伝されているように、非常用の食料など備蓄品をそろえ、緊急避難の手順を心得ておくこと。また、緊急時の連絡の仕方（家族や近くの人など）も決めておきたいものです。

災害時の対応について、教会でも防災委員会があり、備蓄品の整備や災害時の対応を検討しています。大きな災害時には、教会を一時的な避難所として解放することも考えています。

今回の能登半島地震に対しては、若手を中心としたボランティア派遣ができればと思います。名古屋教区が迅速に動き、教区内の金沢教会に「のサポートセンター」が開設されました。ボランティア受け入れが始まったならば、フオン神学生とともにボランティアを派遣したいです。若者の中で、ボランティアに行きたい人は教会までお申し出ください。

先月の教会報で、ガザ支援の募金を集めると呼びかけました。この募金は1月末まで行います。また、能登半島地震の支援金はすでにミサ後の募金活動を始めています。この募金を自由献金袋で献金してもらってもよいですし、教会の献金箱に入れてもらってもよいです。2月末まで行い、名古屋教区の支援口座に振り込む予定です。私たちもできる限りのことで、応援していきましょう。

大きな災害に対して、もう1つ重要なのは、心のおきどころです。この世のものはすべては過ぎ去っていくという自覚です。過ぎ去るものに執着すると、大きな苦しみを生むだけです。自分の身体や家族とのつながりを含め、永続するものではないので、神以外のものを絶対化しない自由な心の態度が必要でしょう。聖パウロは次のように書いています（1月21日の主日ミサ第2朗読）、「今から妻のある人はない人のように、泣く人は泣かない人のように、喜ぶ人は喜ばない人のように、ものを買う人は持たない人のように、世のことにかかわっている人はかかわりのない人のようにすべきです。この世の有様は過ぎ去るからです」（1 コリ 7; 29-31）。過ぎ去る世に身をおいているからこそ、永遠なるものを見つめながら、今日一日を大切に生きていきましょう。

過ぎ去る者の1つとして、イエズス会員の人事異動があります。2月いっぱい、中村神父とフオン神学生が去ることになりました。中村神父はイグナチオ教会へ、フオンさんは東京の神学院に行きます。3月から代わりに渡辺徹郎新司祭が赴任することになりました。よろしくお願いします。

2023 年度 第 5 回小教区評議会 議事録（要約）

日時：2024 年 1 月 14 日（日） 11：30～13：30

場所：信徒会館 第 1・第 2 会議室

出席者（敬称略）：

英主任司祭、宗行議長、堤・松井 両副議長、中村・多田 両書記、井川直（地区会）、井川伸（社会活動部）、藤井（婦人会）、小田琢也（壮年会）、蛭田 武（財務部）、本下（前施設管理部）、吉村千里（教会学校）、三澤尚久（中高生会）、大上（広報部）各コーディネータおよび三垣恭子（会計）

1. 英主任司祭から

・人事異動：中村助任司祭→4 月上旬イグナチオ教会へ。ただし早まる可能性あり。フオン神学生→3 月 4 日（月）東京の神学院へ。新たに渡辺徹郎助任司祭が赴任。これにより、英主任司祭は三日月会、壮年会、婦人会を担当、渡辺助任司祭には教会学校、中高生会、青年会などの担当に。できれば SNS 関連も担当してもらう予定。

・ドイツ語ミサが始まった。詳細は教会報 1 月号に掲載。

・「六甲教会のしおり」の在庫がない。この機会に内容を刷新する。広報部が担当。

・地域の防災倉庫を教会敷地内に設置させて欲しいとの申し出あり。施設管理部と防災委員会で検討する。倉庫管理の担当者を決め、収納物を整理把握する必要がある。

・自由献金：1 月から新しいやり方にした。暫く様子を見たい。バザー収益金は、1 月末までに献金先に送金予定。能登半島地震災害への寄付は、2 月末で検討している。

2. 報告事項

（1）クリスマス～年末年始にかけての行事報告（宗行議長代読）

・ミサの参列者数：12/24 17 時 335 人、19 時 180 人、21 時 84 人、12/25 7 時 36 人、10 時 143 人、12/31 23 時 42 人 1/1 7 時半 40 人、10 時 187 人

・24 日 17 時ミサ後、中高生会有志がココアを用意。信徒会館前で提供し、60 杯程振舞った。

19 時、21 時は婦人会がイグナチオホールでインスタント珈琲等を用意したが、利用者は少なかった。事前に知らせていなかったためと思われるので、来年（2024 年）は、もう少し宣伝してもよい。

（2）クリスマス音楽の集い（12 月 10 日）

・約 200 人の来場があり、118,106 円の献金があった。詳細は教会報 1 月号に掲載。

（3）新年会～成人祝福も兼ねて～（1 月 7 日 10 時ミサ後）（藤井）

・新成人 1 名を含む約 100 人の参加者があった。灘北 2・阪神が担当。寿司、サンドイッチを 100 人分用意。その他持ち寄りケーキ、焼菓子、ビール、ソフトドリンクを提供。予算 10 万円のところ、11 万円かかった。12：30 には片付けを終えた。

（4）教会清掃について（宗行）

・掃除用品の補充については、今後掃除担当者が事務所に連絡し、事務所が発注する。経費は施設管理部から支出。現在常備している掃除用品を地区会で確認しておく。

新規の使いやすい掃除機具（コードレススティック掃除機など）の購入希望については具体的な商品名を上げる。地区会で協議の上決める。施設管理部ではその為の予算を計上している。（本下）

（5）2024 年度小教区評議会役員人事について報告（英主任司祭）

・規約に則り、2 年任期満了の議長宗行、書記多田が退任。新議長＝堤、副議長＝松井・荏原、書記（2 名）＝中村・1 人未定、財務部：蛭田→宗行、防災：堤→松井、会計監査：山縣、会計（2 名）＝三垣・1 人未定、事務＝村田（2023 年 12 月から）。中高生会：三澤→未定、渡辺 新助任司祭の直轄にすることも検討中。専門部会の評議員については、部内で決めて欲しい。但し 80 歳以下の人が望ましい。

(6) その他各部会・各会からの報告

- ・中高生会の春の錬成会（2泊3日）：3月末頃津和野で実施予定。日程、交通手段を検討中。（三澤）
- ・講演会（2月17日土曜日14：00～）（予定）「細川ガラシャとその時代」デ・ルカ・レンゾ神父（宗行議長代読）
- ・教会学校“もちつき”で使用する臼の台を、バザー倉庫に収納した。（吉村千里）
- ・3月3日（日）10時ミサ後、中村神父様、フオン神学生の送別会をイグナチオ喫茶に合わせて行う。お茶と軽食（サンドイッチ等）を出す予定。

3. 協議事項

(1) 2024年度予算について（蛭田）

- ・各部の予算案：別紙省略。既申請分以外に防災委員会予算10万円追加について説明を受け、承認。
- ・施設管理部（本下）：2023年度に続き2024年度予算も大きく増額している理由を説明。

2023年度支出の主なものは、フェンスの移設、聖堂屋上防水シート、小聖堂前造園、高圧受電設備更新、ガス給湯器（厨房、庭）、ベル改修。2023年度の合計支出は1,400万～1,500万円が見込まれる。2024年度は、聖堂の排煙窓の改修、イグナチオホールの漏水対策、藤棚下整備を予定。その他、予期せぬ不具合の発生にも対応出来るよう、余裕を持って予算を計上している。

- ・インボイス制度に関して（三垣）

可能な限り、購入先（仕入れ先）から登録番号をもらう。イエズス会の登録番号が必要な場合は、会計に問い合わせる。PDFで受け取ったレシートなどは、電子の状態で保存することが義務付けられた為、会計が作る専用のアドレスに添付して送信すること。詳細は再度会計係から案内する。

(2) 2024年度年間行事予定表について（大上）

- ・2024年度の行事予定表を作成、関係者校正中。2/18に最終調整後、確定したい。
- ・教会学校、中高生会など子供に関する行事は、子供と共に捧げるミサ（第4日曜10時ミサ）の時に実施することとする。幼児洗礼式は、春か秋を考えている。（英主任司祭）

(3) 2024年度連絡網について（井川直）

- ・個人情報保護の観点から、地区会で出た以下の提案を承認した。

一斉メール対象者（メールアドレス登録者）には、連絡網を配布しない。

一斉メール対象者以外の方々にのみ、電話連絡網を各地区長・ブロック長が作成し配布する。名前のみ記載の地区名簿を、全員に配布する。

地区長・ブロック長のみ、事務作成の個人情報記載の信徒名簿を保有する。

(4) 復活のお祝いについて（3月31日 10：00 ミサ後）

- ・前日に受洗された方を紹介する。食事関係は、婦人会が担当。ゲーム（賞品をつける）をすると、子供達が喜ぶのでは。司会、進行は、ゲームのときだけでも若い人がするのがよいのでは。（次回小教区評議会にて決定）。

(5) その他

- ・周年事業について

2025年が、現聖堂の献堂30周年に当たり、聖年、万博とも重なるので、合わせて記念事業（記念ミサ、記念誌作成など）をしてはどうか。その為には、実行委員会を立ち上げて、今から準備する必要がある。議長団でメンバー等の原案を練り、次回に諮る（英主任司祭）。なお、2008年に旧聖堂献堂60周年事業として、写真展示などを行なっている。

- ・防災に関して：ミサ中に地震が発生した際の対応を検討する必要がある。

第6回小教区評議会 3月3日（日）13:00より 於信徒会館第1・2会議室

《 新成人祝福と新年会 》



1月7日主の公現の日、ミサ中に新成人の祝福が行われました。ミサへの出席は一人だけとなりましたが（写真上）、会衆は大きな拍手で前途を祝しました。

ミサ後に行われた新年会では、「寿」の文字が粉砂糖で描かれたケーキや、手作りの焼き菓子、ロールケーキなどが所せましとメインテーブルに飾られ、目にも舌にもうれしい光景でした。（写真左下）。

新年会半ばには、“じゃんけんゲーム”が行われ、英主任司祭が会衆とじゃんけんする趣向で、勝ち残った人には素敵な賞品が贈られました。舞台の皆さん（写真右下）は、会衆100人の中から勝ち残った人たち。この日のお世話は灘北2地区と阪神ブロックの皆さん。



《 三日月会 新年親睦会 》

今年の「三日月会新年親睦会」は、1月17日（水）阪神淡路大震災の記念の日に行いました。10時から大聖堂で行われた「祈念ミサ」に与り、11時からイグナチオホールに移動し、29年前に震災を体験した方々に、当時の教会での体験や自分自身の体験などの話をしていただき、会場の皆さん（約50名）と分かち合いました。

当時教会は全国から駆けつけた医療団のお世話や全国から届いた救援物資の整理・配分、また被災して不明の信者さん宅を訪問し、安否確認をしたり、老若男女を問わず活動しました。私も当時は壮年会会長でいろいろな活動に携わったのですが、まだ50歳そこそこで活動できる年齢でもありました。大学生や高校生は助任の松村神父さんの下、被災者の家庭の手助け等に若い力を発揮していました。

震災体験の分かち合いの後は、3人（村田、鈴木、高山氏）の独唱があり、いずれも素晴らしい歌声に会場の皆様は称賛の声を上げていました。その後、3月に六甲を去られる中村神父さんとフオン神学生のお別れの挨拶があり、最後にコーラス部の皆さんと会場が一体となり、「たき火」「冬景色」そして、震災を祈念して「しあわせ運べるように」を歌い、散会しましたが、新年親睦会と言えども、震災の記念日に相応しい静かな例会でした。（会長 蛭田 武）





「貧しい人々は、幸いである、神の国はあなたがたのものである。今飢えている人々は、幸いである、あなたがたは満たされる。今泣いている人々は幸いである、あなたがたは笑うようになる。」（ルカ6；20-21）

新入社員だった頃、出勤途中にある教会でこの言葉を見つけました。慣れない職場に向かう私を、毎朝励まし後押ししてくれました。洗礼を受けるずっと前の話で、イエス様に会おうきっかけにもなりました。

フオンさんの六甲ダイアリーより（5）カトリックにおける祝福 //



ミサ中、司祭が参列者に祝福を与えることがよくあります。信者だけでなく、信者でない参列者もその祝福を受けることができます。具体的には、初聖体を受けていない子供たちが親に連れられて、厳粛な気持ちで手を合わせ、頭を下げて司祭から祝福を受けている様子がとても印象に残りました。それをきっかけに、祝福の意味を

もっと深く理解したいと思い、この記事で祝福についての考えをいくつか共有します。

聖書では全体を通して、愛、癒し、許しなど、さまざまな形で神様の祝福について語っている箇所を簡単に見つけることができます。この祝福は創世記から始まります。興味深いのは、宇宙の創造後、神様が祝福ではなく、それを「良し」とされたことです。（創世記1；4、10、12、18、21）。一方で、神様が人間をご自分の姿に似せて創造されたとき、神様はこの新たな創造物を祝福されました。聖書はこう述べています。「神は彼らを祝福して言われた。」（創世記1：28）。神様は「祝福し」人類が神様の前で祝福を謙虚に受け入れたのです。その後、旧約聖書では、先祖の遺産や権力を受け継ぐことが祝福として語られています。

新約聖書では、この祝福はイエスご自身の中に存在します。イエスは祝福するのが大好きです。

「イエスは方々を巡り歩いて人々を助け、悪魔に苦しめられている人たちをすべていやされたのですが、それは神が御一緒だったからです。」（使徒10：38b）。彼はカナでの結婚式で水をワインに変え若い夫婦を祝福しました。彼は病人に手を置いて祝福し癒し（マルコ6：5、8：23参照）、幼い子供たちを祝福しました（マルコ10：16参照）。イエスは弟子たちに手を置き、ペンテコステの日に彼らが宣教を続ける力を得られるように聖霊を与えて祝福されました（ヨハネ20：19-23参照）。初代教会の後期になって、使徒たちは祝福のために手を置くという動作も定期的に行っていましたが、弟子たちがこの動作を再現すると、誰もが祈り、イエスを思い起しました。したがって、教会はそれを教会生活における重要な使命とみなしています。

ユーカットという青年向けカテキズムの本には「司祭は職務の権能により、イエスの名によって、教会の代表として、はっきりと祝福します、祝福を求める司祭の祈りには、叙階の秘跡と、全教会の祈りの力を通しての、特別な形で効力があります」。私は親や子供たちにこう願っています。

「祝福してくださるまでは離しません。」（創世記32：27b）。これはヤコブ老人の素敵な願いです。それは今日も同じです。一方で、教会では司祭は子供たちが祝福される環境を整えようと努めています。他方で、教会は子どもたちのために保護者の協力も期待しています。私たちはこの素晴らしい祝福の意味を子供たちに理解させて欲しいと思います。

Peter Hoang Cong Phuong S. J.

■ 網膜色素変性症という病気 ■

「目が不自由なので、」と、普段よく口にします。すると「老眼？近視？乱視？視力はどのくらい？」と聞かれることが多いです。実は、網膜色素変性症（もうまくしきそへんせいしょう）難病指定の疾病で中途失明者も多勢おられます。50歳を過ぎたあたりから見え方の異変に気付き、いくつもの眼科にかかりましたが、「何ともありませんよ」。「黄斑変性症かもしれませんね」と言われました。

夜明け前から高名な医師のいる医院に通い、目玉に注射を打たれたことも。それから大阪大学附属病院を紹介され、先述の病名がつくまでに1年以上かかったのです（他の患者さんは早くに疾病名が告げられるとか。私の場合は少し特殊だったようです）。

現在は神戸アイセンターに年に一度通院していますが、明確な治療法がなく現状の確認だけです。どんな見え方がするのか、とても説明しづらいのですが、一般的には（夜盲）暗い所では見えない。（視野狭窄）見える範囲が狭くなる。（羞明）明るい光がまぶしくて見にくい。他に視力低下や色覚異常といったところです。私の場合は目の中心が見えづらく、物が歪んで見える。見えるところと見えないところが時々変わり、「見えているじゃない？」と言われることもあります。

眼鏡をかけても見えづらいので、（白内障とかの）手術で眼の中にレンズを入れてもらえれば少しは・・・と思うのですが、かえて光が入らないそうです。

日常生活で人に頼ることが多く、それが何よりもつらいーもっと不自由な方ががんばっておられるのに比して自分は、と落ち込みがかえて増すばかり。

残された時間のなか、やりたいこと・やっておかなければならないことが山積なのに。もどかしい限り。以前は、光のない世界にいるよりはと、恵まれた環境に感謝もしました。自身の力ではどうすることもできないのであれば、神とともに、自分と付き合っていくのが理想でしょう。が、なかなか難しいものですね。今日も落ち込みと、がんばりのはざまで流されるのでしょう。

「知らん顔して」と思われることも多いので、お声がけいただければ大変うれしく思います。これからもよろしくお願い申し上げます。（マルガリタ・マリア 岩田 聖代）

三日月会 「3月度例会」 のお知らせ

3月6日（水）に京都方面への日帰り旅行を企画しています。しだれ梅で有名な「城南宮」と一休さんで知られている「一休寺」を訪問するツアーです。参加人数（先着40名）が限られているので、お早めにお申し込みください。詳細は聖堂入り口のチラシをご覧ください。

【2月の社会活動部の予定】

- 2月4日（日） 10時ミサ後 ふれあい広場（社会活動部ボランティアグループ出店）
- 2月7日（水） 10時 手芸の集い 第1第2会議室 手芸のお好きな方なら誰でもどうぞ。
- 2月10日（土）10時 炊き出し 小野浜グラウンド（中央区小野浜町3）
- 2月23日（金） 9時半 ともしび会 イグナチオホール台所

☆ **知恵 真人への道** 越前喜六(編著) 教友社

神からの求めに応じるために時代が変わっても永遠であり続け、わたしたちが立ち返るべき拠り所である「知恵」を11人の求道者が語る。

☆ **あなたはあなたのままでいい** とっておきの聖書のことば 23 片柳弘史(著)・RIE (イラスト)

PHP エディターズ・グループ

失敗しても大丈夫。悩んだり迷ったり、くじけそうなとき、この本を開いてみて下さい。前に進もうという心にそっと寄り添ってくれるでしょう。

☆ **癒しと救い「障害の神学」から「癒しの神学」へ** 宮永久人(著) 教友社

障害を抱える者がいかに神と向かい合い、真の信仰の道を見出すのか。この大きなテーマに対峙し、自らの苦難の体験と多様な現代思想を駆使して真摯に探求していくドラマチックな著作である。
(英神父の「推薦のことば」より)

☆ **キリストとともに 世界が広がる神学入門** 阿部仲麻呂(著) オリエンス宗教研究所

これだけわかりやすい、温かい月のように軽やかに舞う神学書は、世界にも例を見ないのではないのでしょうか。(解説より)

☆ **酒井しょうこと辿る 聖母マリアに出会う旅 フランス3人の聖女を訪ねて** 酒井しょうこ(著) 亜紀書房
カタリナ(パリ) ベルナデッタ(ルルド・ヌヴェール) テレーズ(リジュール) — フランス巡礼へのいざない。

☆ **イエスの聖衣(トゥニカ)とフランシスコの僧衣** エンツォ・フォルトゥナート(著)・太田綾子(訳)

女子パウロ会

稀有な二つの生き方、二つの不滅のメッセージ。

☆ **ヤバい神** トーマス・レーマー(著)・白田浩一(訳) 新教出版

子供を殺せとかムリでしょう。神は残酷? 横暴? 不都合な記事による旧約聖書入門。

☆ **霊操** イグナチオ・デ・ロヨラ(著)・川中 仁(訳) 教文館

神との交わりの深化へと導く手引き。自筆稿からの最新訳。

☆ **釜ヶ崎現場ノート 1975 年～2007 年** 小柳伸顕(著) サランペ舎

☆ **教会“再生”の社会学 刷新のためのヒント** スティーブ・クラーク(著)・高浜武則(訳) 教友社

☆ **死者と生きる** デルフィーヌ・オルヴィール(著)・白井美子(訳) 早川書房

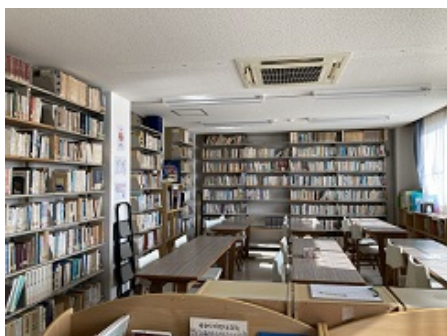
☆ **東方教会の精髓 人間の神化論攷聖なるヘシュカストたちのための弁護**

グレゴリオ パラマス(著)・大森正樹(訳) 知泉学術叢書 2 知泉書館

☆ **聖霊と神のエネルギー** グレゴリオ パラマス(著)・大森正樹(訳) 知泉学術叢書 22 知泉書館

☆ **ユダヤ的叡智の系譜 タルムード文化論序説** 市川 裕(著) 東京大出版会

・これらの本は英神父様からご提供いただきました。どれもお勧めの本です。



図書室南面窓から見えるベルタワーが美しいと言われています。

聖歌隊メンバー募集

聖歌隊と一緒に歌いませんか？

どなたでもご参加ください！ ミサで歌う曲を中心に練習しています。

- ・事前の連絡は不要です。
- ・直接お越し下さい。
- ・見学も歓迎します。
- ・練習日は週報に記載してあります。

ミサの時はまとまって歌うのではなく、会衆の皆さんと一緒に歌います。

1年に一度クリスマス音楽の集いでは、聖歌隊でクリスマスキャロルなどを歌う予定です。（写真は2023年のクリスマス音楽の集い）

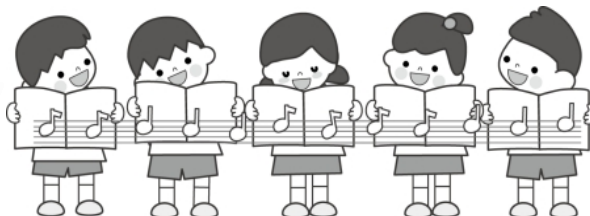
練習は主に不定期の日曜日 10時ミサ後の11時15分頃～12時半まで行っています（時々土曜日に行くこともあります）。おおむね月に2回です。

2024年1月から、ミサ曲B、ミサ曲Cの練習を始めました。

2、3月の練習日は

- ・2月11日（日）、18日（日）
- ・3月3日（日）、17日（日）

■4月以降の練習日は、新年度の教会予定が決まってからお知らせいたします。



この度は勝手ながら、六甲教会にさよならを言わせていただきます。4年近くを一緒に過ごさせていただきました。御影は故郷であり、神戸大学附属の小と中学校に通い、編入生として六甲学院の高校で3年間を過ごしました。その間、多くの恩師・友人に恵まれました。立ち去りがたさを感じる心もありますが、やはり助任司祭としての職務を続けることはもう無理だと判断し、そこで自ら管区長に願い出た次第です。任命書によるとSJハウスに住み、四谷のイグナチオ教会の協力司祭として、主に赦しの秘跡を授けることになりました。自分では、どこか大きな修道会のチャプレンになることを望みました。しかし新しい管区長・佐久間神父は、ロヨラ（引退会員の完全介護が受けられる終の棲家）に入るにはまだ早いと判断され、重要な仕事を託されました。今後いつまでやれるか分かりませ



んが、信任に應えて全力で尽くしたいと思います。

六甲では4年を皆さんと一緒に過ごすことができ、感謝しております。広島司教区で過ごした25年あまりの期間中、わずか5か月で任地が変わることが二回もあり、人事異動はどれほど大仕事を幾分か弁えているつもりです。とにかく司祭は決して「留る者、定住者」ではありません。むしろ流れ者です。しかし異動のたびごとに司祭はむしろ深くなり太くなり、多くの気づきに恵まれます。ですか

ら六甲教会の在任期間の長い短いを問題にしても、ほとんど意味がありません。私としては、日々に老い行くことの大変さを受け入れ、人とどう向き合っていくのか、人の偉さをどこに認めるのかを模索しています。



六甲はたしかにかなり老いた教会と言えるでしょうが、多くの人材に恵まれ、教会のためまた人々のために、喜んで尽くそうと願っている多くの老若男女が多くおられます。何の文句も言わずに役員の任を果たしておられる方々、黙々と掃除や花壇の手入れに励んでおられる方々、落ち葉を掃き清め、また外の灰皿やテーブルを清掃してくださる方々、受付や会計室で多難な仕事をこなしておられる方々、このように誰も気付くことがなくても無数の善意の第三者によって、神の教会は支えられて担われています。その意味では、司祭も「聖なる奉仕」の一端を担っているにすぎません。

殉教者高山右近や日本26聖人に倣うめぐみを共に祈りつつ、世の終わりまで、いつも私たちと共にいると約束された御言葉に信頼して、全世界に行きすべての人々にイエスの福音を告げ知らせましょう。「すべての人の救いを望まれる神よ、私たちもこの世の力や誘惑に打ち勝ち、福音に生きることができるよう。怯む心を強め、奮い立たせてください」。皆さんとの出会いを感謝しつつ。中村健三 謹んで合掌。

カトリック教会は、毎月、「教皇の祈りの意向」を示し、教会全体が日々の祈りの中で、その意向に基づいて祈るように招いています。2月の祈りの意向は、「終末期医療」です。次のように祈りましょう。

「人生の最終段階を病の中で過ごしている方とその家族が、周囲の支えの中で、必要な医療と人間的なケアを受けることができますように。」

【2024 年 2 月行事予定表】

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
					主の奉獻 初金曜日ミサ 7:00 10:00 聖体顕示 10:00 ミサ後 社会活動部連絡 会 11:00 ◎東灘北 1	福者ユスト高山 右近殉教者
4	5	6	7	8	9	10
年間第 5 主日 手話付きミサ 結婚準備セミナー① 14:00	日本26 聖人 殉教者				◎灘西. 中央	社会活動部 炊き出し
11	12	13	14	15	16	17
年間第 6 主日 世界病者の日 地区役員会 11:30 結婚準備セミナー② 14:00	教会受付 休み		灰の水曜日 ミサ 7:00 10:00 19:00		十字架の道行 10:00 シナピス 定期清掃	宣教養成部 講演会 14:00
18	19	20	21	22	23	24
四旬節第 1 主日 結婚準備セミナー③ 14:00				聖ペトロ の使徒座	十字架の道行 10:00 教会受付休み ◎東灘北 2・芦屋	
25	26	27	28	29		
四旬節第 2 主日 結婚準備セミナー④ 14:00 施設管理部会 11:30 典礼部会 14:00						

◎は掃除当番地区（午前 7 時時点で気象警報が発令された場合は中止します。）

【編集後記】

ことしの灰の水曜日は 2 月 14 日。この日から四旬節にはいり聖木曜日・主の晩餐の夕べのミサまで長い祈りの期間を過ごします。俳句で言えば「春寒（はるさむ）」。春とは名ばかり、まだ寒い日が続いたりする気象状況のことを表す季語です。静かな内省を経て主の復活を待ち望む聖週間に至るまでの道のりは、ちょうどこのころ心から春を待望する人々の姿にシンクロします。「春寒」のひとつとには、やがてきっとあたたかい春風が吹くことでしょう。（余）

・次回3月号の発行は 3 月 2 日（土）です。 原稿は毎月 15 日ごろまでに、教会受付へ直接 ご持参いただくか、FAX、メールでお願い致し ます。（renraku@rokko-catholic.jp） 皆さまからのご寄稿をお待ちしています。 <u>教会 SNS チームは、フェイスブック、インスタグラム、 X(旧ツイッター)、YouTube チャンネルで配信してい ます。「六甲カトリック教会」で検索してみてください。</u>	六甲カトリック教会 〒657-0061 神戸市灘区赤松町 3-1-21 電話 078-851-2846 FAX 078-851-9023 http://www.rokko-catholic.jp 発行責任者 英 隆一朗 編 集 広 報 部
---	---